

島根県立大浜田

学部改編案 異論出ず

県議会 総務委 短大保育学科定員検証

島根県立大(本部・浜田市野原町)が13日、県議会総務委員会(池田一委員長、9人)で、浜田キャンパスの総合政策学部総合政策学科(定員220人)を2021年度に3学科の地域系学部(135人)と2学科

浜田キャンパス新学部学科構想案

改編前 総合政策学部総合政策学科(定員220人)

改編後
(2021年度~)

- 地域政策学部
 - ・地域経済経営学科(定員45人)
 - ・地域公共学科(定員45人)
 - ・地域活性学科(定員45人)
- 国際関係学部
 - ・国際関係学科(定員45人)
 - ・国際コミュニケーション学科(定員45人)

※改編後の学部学科名は仮称

の国際系学部(90人)に改編する構想を示した。併せて提示した23年に新設する方針の「しまね国際地域研究センター(仮称)」とともに、委員から異論は出なかった。

「しまね国際地域研究センター」は、既存の「北東アジア地域研究センター」と19年度に新設する「しまね地域共創研究センター(仮称)」を統合し、人口減少や中山間地域対策など県が直面する課題を研究し、成果を学内教育や地域に還元する考えを示した。

自民党議員連盟の五百川純寿委員は、同大が理念に掲げる地域貢献が前面に出ており、「学生本意の内容になっていない」と評価。民主県民クラブの須山隆委員は「総じてすばらしい内容」と賛同した。

また、設置者の県は第3期中期目標(19~25年度)の素案を説明。定員を従来から10人減の40人にした短期大学部(松江市浜乃木7丁目)の保育学科に關し、今後の学生や就職先などのニーズの動向を分析し、適当な定員規模の検証を行うことを明らかにした。

県は第3期中期目標の最終案を9月定例会に示し、議決を得たい考え。同大は19年2月に県による中期計画認可を目指している。

(高橋利明)